



キク編



病害虫注意報
2017年6月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

5月に続き、**白さび病**の発生しやすい季節です。循環扇、モヤコンを活用し空気の対流と湿度を下げる環境づくりを徹底しましょう。また、気温の上昇に伴い**アザミウマ**、**ハモグリバエ**等の害虫の発生も増加します。また、梅雨に入ると悪天候が続きます。晴れの日には薬剤散布ができるように天気予報に注意しながらしっかり予防を行いましょう。

今月のおすすめローテーション

※地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますので、ご注意ください。さらに、展着剤、葉面散布剤などを加用する場合も、ご注意ください。

生育初期

アブラムシ類 ミカヅキアザミウマ、ハダニ類	アーデント水和剤	1,000倍 発生初期/5回
アブラムシ類、コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍 発生初期/4回
白さび病	シマンダイセンフロアブル	500~800倍 ー/8回

破蕾期

アブラムシ類 アザミウマ類	モスピラン 顆粒水溶剤	アザミウマ類2,000倍 アブラムシ類4,000倍 発生初期 / 5回
ハダニ類	カネマイト フロアブル	1,000~1,500倍 ー/1回
白さび病 うどんこ病	アンビル フロアブル	1,000倍 発病初期/7回

消灯時

アブラムシ類 コナジラミ類 ミカヅキアザミウマ	ベストガード 水溶剤	1,000~2000倍 (コナジラミ類、ミカヅキアザミウマ: 1000倍) 発生初期/4回
ハダニ類 ハモグリバエ類	コロマイト乳剤	1,500倍 ー/2回
白さび病	チルト乳剤25	3,000倍 発病初期/3回

発蕾期

アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、オオハコガネ	ディアナSC	2,500~5,000倍 発生初期/2回 (コナジラミ類: 2,500倍)
白さび病	Inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍 発病初期/3回

○農薬のかけムラが発生しやすい親木には粒剤の併用をお勧めします。

適用害虫	薬剤	使用方法	時期/回数	使用量
ミカヅキアザミウマ、マハダグリバエ、アブラムシ類	ベストガード粒剤	生育期株元散布	発生初期	2g/株 アブラムシ類は1~2g/株
アブラムシ類	アルバリン粒剤	株元散布	生育期/5回	20kg/10a
アザミウマ類、マハダグリバエ アブラムシ類	ダントツ粒剤	生育期株元散布	発生初期/4回	2g/株 アブラムシ類は1g/株

葉やけ・芽やけ対策

Q4ホワイト

- ★ハウス内を涼しくし、人にも作物にも快適な環境にします。
- ★最適な遮光効果。
(遮光率にもよりますが、1缶/150L/反 使用)
- ★優れた耐候性。
- ★散布後の器具の洗浄は、乾く前にしっかり行なってください

オランダ生まれ吹付式
白色遮光剤



15L・20kg/缶